

ちがいのとなりで、生きている ふだんの暮らしから、やさしいつながりを見つける時間

障がいのある人の「学ぶ」「働く」「暮らす」といった日常を、当事者の語りとグループワークを通して考えました。

第1回目（講師：車椅子モデル 玉置陽葵さん）
大学生として生活するなかで、通学や外出での困りごとや
ご友人との関係づくりについて嬉しかったことなど等身大の言葉で伝えていただきました。

第2回目（講師：ピアサポーター 薄井恵美さん）
ご自身の今までの人生を振り返りながら、障がいとの向き合い方や生き方について
日々の生活を通して職場のみなさんと一緒にお話していただきました。



▲第1回講師：玉置陽葵さん

【講座概要】

日程：①1月10日（土）

②1月17日（土）

会場：生涯学習センター

受講者数：27名

※第1回目のみ手話通訳付き



第2回講師
薄井恵美さん ▶

【受講生の感想】

- ・当事者の生き生きした話が聞けて良かった。参加者の話も聞けてよかった。
この輪が大きくなって社会が温かいおもいやり豊かなものになると思います。
- ・ふだんからの問題を話してくださって“わかる!!”がたくさんありました。
すべての事に“やさしい”世の中になるべきですね。
- ・1人の人生の生き方を知ることができ、とてもいい時間でした。
- ・自分の障がいとは異なる障がいと、年齢による違いに気づけたことも大きい。
知るということはいつまでも自分に重要だと思う。



▲グループワークの様子